

本市の放射線対策について

東日本大震災による原子力発電所の事故に伴い、本市でも、平成23年3月15日以降、一時的に大気の放射線量（空間 γ 線量率）が増加する事態となりました。現在、放射線量は震災前の状況に戻っており、市内における大気・水・食材等については現時点では安全な状況といえます。

一方で、放射性物質に汚染された稲わらを給餌された牛の流通が新たに判明したことなどから、放射性物質に対する不安を訴える市民からの相談も寄せられています。

そこで、本市における放射線対策について、これまでの経過と不安を払拭するため今後行っていく取組について御報告します。

1 放射線に関する本市の取組

- (1) 放射線に関する健康・食品相談電話窓口を開設（平成23年3月23日）

7月までの相談件数2,444件（電話相談窓口分1,094件 区局対応分1,350件）

- (2) 広報よこはま「震災対策特別号」を発行（平成23年4月8日）

- (3) 放射線対策部の設置（平成23年6月1日 市長記者発表）

測定等今後の放射線対策に局横断的に対応していくため、横浜市災害対策本部の中に、副市長を対策部長とする放射線対策部を設置し、これまでに6回の局長級の会議と5回の課長級の会議を行っています。

2 放射線測定状況について

- (1) 測定項目（空間 γ 線量と放射能濃度）裏面参照

- (2) 放射線測定結果

ア 大気（空間 γ 線量）の状況

校庭・園庭・公園については、6月、7月の2か月間で220か所の空間線量測定を行い、その結果いずれも利用者の健康に影響を与えるものではなく、年間を通じた校庭・園庭・公園等での活動に支障はありません。（最少0.01 μ Sv/h（マイクロシーベルト毎時）～最大0.20 μ Sv/h）

イ 給食食材の状況

7月までに23品目の測定を行い、いずれも不検出でした。

ウ 市内産農産物等の状況

7月までに11品目の測定を行い、8品目が不検出で3品目（トウモロコシ、なす、なし）から0.5～3.0Bq/kg（ベクレル/キログラム）検出されましたが、いずれも暫定規制値の500Bq/kgを大幅に下回るものです。（その他の測定結果は別添の参考資料を参照）

3 放射性物質に影響を受けた肉牛の対応

（別添資料1）

4 放射線対策の今後の取組

- (1) 環境及び食品の放射線量測定を一定期間継続します。

- (2) 正しい知識と情報を伝えるための取り組みを行っていきます。

・放射線に関するシンポジウム：9月5日（月）県民ホール（講演・パネルディスカッション）

横浜市立大学放射線科教授 井上登美夫氏、東京大学名誉教授 唐木英明氏、

国立保健医療科学院主任研究官 寺田 宙^{むすし}氏

なお、講演の様様をDVD等に記録し市民等への普及啓発に活用する予定

・広報よこはま震災対策特別号「放射線特集」9月10日（土）新聞折込予定

事故後新たに開始した放射線測定（予定を含む。）

測定場所及び測定対象		測定開始時期	測定機器 (製造又は販売元)
①市立小学校、 市立中学校	小学校：地表 50cm 中学校：地表 1m の空間γ(ガンマ)線量	6月13日(月)～	ガンマ線及びエックス線検出放射線サーベイメータ RDS-30(ミリオンテクノロジーズ)
②認可保育所 私立幼稚園	地表 50 cmの 空間γ(ガンマ)線量	6月16日(木)～ 私立幼稚園8月～	
③公園	地表 50 cmの 空間γ(ガンマ)線量	6月22日(水)～	
④都筑区役所・南部公園 緑地事務所・環境科学 研究所各敷地内	地表 50 cm及び 1 m の 空間γ(ガンマ)線量	6月13日(月)～ 3か月間(毎日)	NaI(Tl)シンチレーション検出器 TCS-161A(日立アロカメディカル株式会社)
⑤小学校給食食材	食品の放射能濃度	6月16日(木)～	民間委託
⑥市内産農産物等、食肉 市場の牛肉及び本場・ 南部市場の流通食品	食品の放射能濃度	・市内産農産物等 7月6日(水)開始 (6月までは神奈川県で実施) ・食肉市場の牛肉 <全戸検査(汚染稲わら流通県等)> 7月19日(火)～ <全頭スクリーニング検査> 8月8日(月)～ ・本場・南部市場の流通食品 9月開始予定	・ゲルマニウム半導体検出器 GEM25-70(ORTEC社) ・NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ TCS-172B(日立アロカメディカル株式会社)
⑦海の公園海水浴場	海水の放射能濃度	5月・6月は神奈川県で検査実施 7月から本市で実施 ・7月25日(月) ・8月22日(月)	ゲルマニウム半導体検出器 GEM25-70(ORTEC社)
	砂浜の空間γ(ガンマ)線量	7月4日(月)と8月3日(水)に神奈川県が実施	NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ TCS-171(日立アロカメディカル株式会社)
⑧土壌・下水汚泥・河川水・海水等	土壌等の放射能濃度	下水汚泥 5月6日(金)～	民間委託
⑨水道水及び浄水処理に伴い発生する汚泥	水道水及び汚泥の放射能濃度	水道水 3月19日(土) 汚泥 5月12日(木)	NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ Captus3000(米国CAPINTEC社)
⑩一般廃棄物の焼却工場及び埋立処分場	焼却灰、飛灰及び処分場放流水等の放射能濃度	6月29日(水)～	民間委託
⑪横浜港の水域、 コンテナターミナル	・大気空間γ(ガンマ)線量 ・海水(表層)中の放射能濃度 ・輸出コンテナの表面の空間γ(ガンマ)線量	大気 3月22日(火)～ 海水 4月14日(木)～ コンテナ 4月28日(木)～(※国交省ガイドラインによる測定)	ハンディサーベイメータγ・X線測定用 NHE(富士電機株式会社)
【従来からの測定】 ⑫環境科学研究所(屋上)	地表 23mの空間γ(ガンマ)線量	昭和58年度～	NaI(Tl)シンチレーション検出器 MAR-20(日立アロカメディカル株式会社)

放射性物質に影響を受けた肉牛の対応

1 経過

東京電力福島第一原発の水素爆発事故直後、農林水産省は原発周辺県の畜産農家に対し、飼料・水・飼養場所等の飼養管理上の注意事項（事故前に収穫し屋内で保管された飼料を使うこと）を通知しました。加えて計画的避難区域及び緊急時避難準備区域から牛を移動する際には、全頭の表面汚染をサーベイメーターで検査し10万cpm以下の牛のみを出荷する措置をとりました。

しかし、7月8日に福島県南相馬市産の牛肉で暫定規制値（放射性セシウム：500Bq/kg）を超えたことから、福島県が肉牛の飼育状況を調査したところ、屋外に放置されていた放射性セシウムに汚染された稲わらを給餌していたことが判明しました。その後、同様の稲わらが他県等に流通し、それを飼料とした肉牛が福島県以外でも確認されています。

2 汚染された稲わらを給餌された肉牛の流通状況（8月7日現在）

(1) 【表1】全国流通

生産県	と畜頭数（頭）	牛肉検査結果	
		検査総数（頭）	規制値超（頭）
宮城県・福島県・群馬県・岐阜県 静岡県・新潟県・山形県・岩手県 茨城県・三重県・北海道・島根県 秋田県・栃木県、埼玉県	3,113 横浜と畜分 (51)	835 (横浜と畜分 19頭全て暫 定規制値以下)	83 検出値 (Bq/kg) 510~4,350

肉牛の暫定規制値：放射性セシウム 500Bq/kg

(2) 【表2】市内流通

7県から40,955kgが市内に流通し、すでに5,077kgが消費され、うち375kgが暫定規制値を超えていました。

全量 (kg)	消費済 (kg)	市外流通済 (kg)	販売先調査中 (kg)
40,955	5,077 (暫定規制値超過：375)	33,604	2,274

3 肉牛等に対する指導

検査計画及び出荷計画策定の基本的対応方針（7月29日厚生労働省食品安全部長通知）

内閣官房長官から、出荷制限解除にあたって全頭検査及び全戸検査が必要との考えが示され、厚生労働省は、一定の時間を要する核種分析装置での検査に加え、短時間で済む簡易測定機器（シンチレーションサーベイメーター）による検査法を全国の自治体に通知しました。

【表3】出荷停止（8月7日現在）

指示日	自治体
7月19日	福島県
7月28日	宮城県
8月1日	岩手県
8月2日	栃木県

【表4】出荷県等の検査対応（8月7日現在）

全頭 (県内産と畜分)	福島県、宮城県、岩手県、栃木県、 秋田県、山形県、新潟県、茨城県、 岐阜県、三重県、島根県、長野県
全戸	神奈川県、群馬県、富山県、 埼玉県
予定なし	北海道、東京都、静岡県

【表5】 稲わらに関する指示

通知日	対象	内容
7月15日	岩手県・宮城県・福島県・茨城県・群馬県・栃木県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県・静岡県	・畜産農家等に原発事故後に収集された稲わらを飼料に利用しないよう指導 ・稲作農家等に原発事故後に無包装で屋外放置していた稲わら等を販売しないよう指導
7月19日	全国	H23.7.15付通知の対象を全国47都道府県に拡大

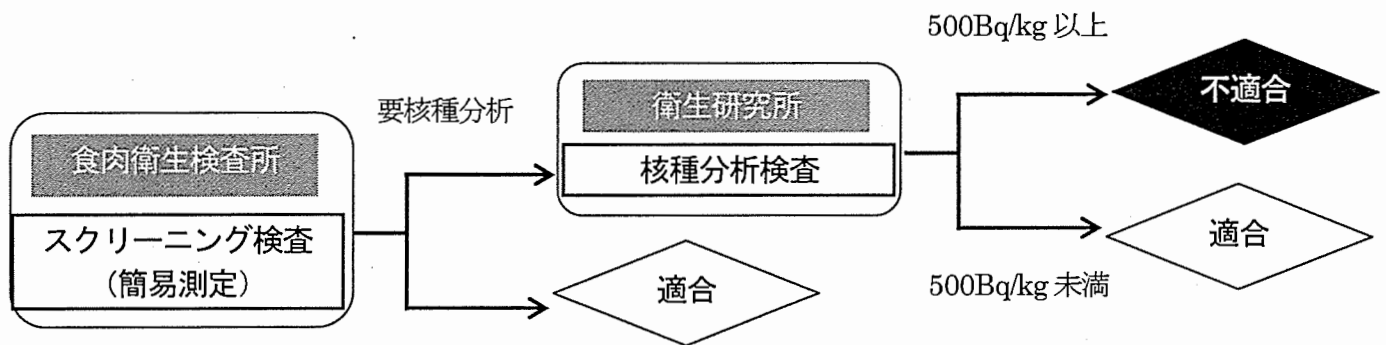
【表6】 【汚染された稲わらの調査結果（7月28日 農水省まとめ）】

稲わら生産地	宮城県、福島県、栃木県、岩手県、茨城県
放射性セシウム (Bq/kg) 最大値*	33,000～500,000 [7,500～113,636]

*[]内は、粗飼料の暫定許容値（放射性セシウム：300Bq/kg）との比較のため、稲わらの水分を12%とし、水分80%に補正を行った場合の放射性物質質量

4 本市の検査体制

7月19日から食肉衛生検査所での簡易検査及び衛生研究所での核種分析を開始していますが、昨日8月8日から食肉衛生検査所での全頭検査を開始しました。
(1日検査処理頭数＝入荷頭数：40頭程度)



【表7】 7月末までの検査結果

	検体数	主な牛肉の産地	検査結果
スクリーニング検査 (簡易測定)	15頭	北海道、神奈川県、静岡県 新潟県等	異常なし

『スクリーニング検査を実施した15頭のうち、核種分析を行ったものは1頭ですが、暫定規制値以下でした。』

<参考> 大手量販店での対応

イオン(株)では自社ブランド商品の全頭検査の実施や飼料・水のモニタリング検査を強化し、イトーヨーカ堂では県単位の産地表示の実施や取引先食肉メーカーへ全頭検査の実施を要請しています。

放射線測定状況(平成23年7月分)

参考

①市立小・中学校、②認可保育所、③公園 の空間線量

[単位 μSv/h]

区名	番号	測定日	区分	名称・場所	最低	最高
鶴見区	1	230711	小	潮田小学校	0.10	0.13
	2	230712	小	新鶴見小学校	0.09	0.09
	3	230712	小	馬場小学校	0.06	0.14
	4	230713	中	生麦中学校	0.07	0.09
	5	230721	保	總持寺保育園	0.08	0.10
	6	230722	保	横浜市芦穂崎保育園	0.09	0.16
神奈川区	1	230720	小	池上小学校	0.10	0.12
	2	230720	小	幸ヶ谷小学校	0.12	0.15
	3	230725	中	錦台中学校	0.05	0.08
	4	230729	小	白幡小学校	0.06	0.11
	5	230720	保	横浜市神大寺保育園	0.06	0.13
	6	230725	保	聖徳保育園	0.07	0.12
	7	230720	公	神大寺中央公園	0.05	0.11
西区	1	230708	小	稲荷台小学校	0.09	0.15
	2	230708	小	戸部小学校	0.12	0.14
	3	230712	中	岡野中学校	0.10	0.13
	4	230712	小	西前小学校	0.09	0.12
	5	230725	保	利正寺保育園	0.08	0.09
	6	230725	保	浅間幼稚園	0.08	0.14
中区	1	230704	小	元街小学校	0.09	0.16
	2	230706	中	大鳥中学校	0.07	0.13
	3	230711	小	間門小学校	0.09	0.14
	4	230712	小	本町小学校	0.09	0.10
	5	230720	保	山元町保育園	0.05	0.18
	6	230725	保	横浜市竹之丸保育園	0.05	0.13
南区	1	230704	中	南が丘中学校	0.05	0.10
	2	230704	小	藤の木小学校	0.08	0.16
	3	230704	小	南吉田小学校	0.11	0.16
	4	230705	小	井土ヶ谷小学校	0.05	0.12
	5	230725	保	横浜市清水ヶ丘保育園	0.09	0.15
	6	230725	保	中村愛児園	0.07	0.13
港南区	1	230713	小	日限山小学校	0.12	0.15
	2	230714	中	笹下中学校	0.11	0.16
	3	230715	小	桜岡小学校	0.07	0.11
	4	230726	小	日下小学校	0.06	0.15
	5	230722	保	横浜市上永谷東保育園	0.07	0.08
	6	230727	保	港南はるかぜ保育園	0.04	0.09
保土ヶ谷区	1	230704	中	岩崎中学校	0.05	0.10
	2	230704	小	峯小学校	0.07	0.13
	3	230706	小	上星川小学校	0.06	0.09
	4	230706	小	新井小学校	0.07	0.14
	5	230725	保	横浜市保土ヶ谷保育園	0.04	0.15
	6	230725	保	西谷保育園	0.09	0.14
旭区	1	230711	小	さちが丘小学校	0.03	0.08
	2	230714	小	上白根小学校	0.09	0.12
	3	230714	小	都岡小学校	0.05	0.14
	4	230715	中	旭中学校	0.10	0.17
	5	230727	保	横浜市左近山保育園	0.01	0.12
	6	230727	保	ちとせ保育園	0.05	0.10
磯子区	1	230705	小	杉田小学校	0.08	0.11
	2	230706	中	根岸中学校	0.07	0.10
	3	230706	小	汐見台小学校	0.09	0.10
	4	230707	小	洋光台第四小学校	0.12	0.14
	5	230728	保	横浜市東滝頭保育園	0.06	0.14
	6	230728	保	金剛保育園	0.09	0.11
小計	55					

【「区分」欄 凡例】 「小」=小学校、「中」=中学校、「保」=保育所、「公」=公園

区名	番号	測定日	区分	名称・場所	最低	最高
金沢区	1	230714	中	富岡中学校	0.05	0.12
	2	230714	小	六浦南小学校	0.07	0.20
	3	230715	小	八景小学校	0.02	0.11
	4	230715	小	西柴小学校	0.08	0.11
	5	230721	保	明德釜利谷保育園	0.05	0.09
	6	230726	保	横浜市並木保育園	0.07	0.08
港北区	1	230708	小	高田東小学校	0.08	0.13
	2	230715	小	菊名小学校	0.09	0.12
	3	230715	小	港北小学校	0.02	0.11
	4	230719	中	日吉台中学校	0.10	0.10
	5	230714	保	横浜市港北保育園	0.09	0.15
	6	230714	保	尚花愛児園	0.12	0.15
緑区	1	230701	中	十日市場中学校	0.11	0.12
	2	230701	小	東本郷小学校	0.10	0.14
	3	230701	小	三保小学校	0.11	0.16
	4	230701	小	山下みどり台小学校	0.07	0.12
	5	230725	保	横浜市竹山保育園	0.09	0.11
	6	230725	保	寺山保育園	0.06	0.14
青葉区	1	230705	中	奈良中学校	0.08	0.13
	2	230705	小	つつじが丘小学校	0.09	0.12
	3	230712	小	市ヶ尾小学校	0.07	0.12
	4	230712	小	鉄小学校	0.10	0.11
	5	230721	保	横浜市美しが丘保育園	0.04	0.10
	6	230721	保	柿の木台保育園	0.07	0.11
都筑区	1	230704	中	荏田南中学校	0.08	0.14
	2	230706	小	茅ヶ崎東小学校	0.10	0.14
	3	230707	小	南山田小学校	0.10	0.13
	4	230711	小	折本小学校	0.08	0.19
	5	230727	保	川和保育園	0.07	0.11
	6	230728	保	横浜市大熊保育園	0.10	0.12
戸塚区	1	230704	小	平戸小学校	0.05	0.14
	2	230705	小	深谷小学校	0.04	0.10
	3	230706	中	豊田中学校	0.08	0.10
	4	230707	小	倉田小学校	0.08	0.12
	5	230721	保	おおぞらひまわり保育園	0.07	0.09
	6	230722	保	横浜市名瀬保育園	0.10	0.11
	7	230714	公	踊場公園	0.08	0.10
栄区	1	230715	小	小山台小学校	0.11	0.14
	2	230720	小	豊田小学校	0.09	0.11
	3	230721	中	西本郷中学校	0.07	0.13
	4	230721	小	桂台小学校	0.06	0.13
	5	230722	保	かつら愛児園	0.10	0.13
	6	230729	保	横浜市飯島保育園	0.07	0.09
泉区	1	230706	中	泉が丘中学校	0.10	0.12
	2	230706	小	伊勢山小学校	0.03	0.12
	3	230706	小	新橋小学校	0.02	0.13
	4	230706	小	西が岡小学校	0.07	0.11
	5	230714	保	横浜市北上飯田保育園	0.07	0.09
	6	230725	保	緑園なえぼ保育園	0.07	0.11
瀬谷区	1	230707	小	大門小学校	0.04	0.10
	2	230707	小	二つ橋小学校	0.09	0.12
	3	230711	小	南瀬谷小学校	0.08	0.10
	4	230715	中	原中学校	0.11	0.12
	5	230725	保	横浜市瀬谷第二保育園	0.09	0.11
	6	230725	保	認定こども園はらのこ はら保育園	0.08	0.12
小計	55					
合計	110					

④市内3地点における空間γ(ガンマ)線量の測定

(環境科学研究所と、他の地点の放射線量比較検証)

測定地	測定地点	測定高	7月1日~7月31日の測定値 範囲
単位: マイクロシーベルト毎時[μSv/h]			
都筑区役所 (都筑区)	地点A	高さ50cm	0.05-0.07
		高さ1m	0.05-0.07
	地点B	高さ50cm	0.05-0.07
		高さ1m	0.05-0.07
	地点C	高さ50cm	0.05-0.07
		高さ1m	0.04-0.06
南部公園 緑地事務所 (港南区)	地点A	高さ50cm	0.07-0.08
		高さ1m	0.06-0.08
	地点B	高さ50cm	0.05-0.08
		高さ1m	0.05-0.08
	地点C	高さ50cm	0.06-0.08
		高さ1m	0.05-0.08
環境科学 研究所 (磯子区)	地点A	高さ50cm	0.06-0.08
		高さ1m	0.05-0.07
	地点B	高さ50cm	0.04-0.07
		高さ1m	0.04-0.06
	地点C	高さ50cm	0.05-0.06
		高さ1m	0.05-0.06

使用測定器 アロカ製 TCS-161A

(備考)

都筑区役所地点A: 土、地点B: 土、地点C: 土

南部公園緑地事務所地点A: アスファルト舗装、地点B: 土(芝)、地点C: 土(芝)

環境科学研究所地点A: アスファルト舗装、地点B: 土、地点C: アスファルト舗装

⑤学校給食食材 放射能濃度測定(核種分析)

検査日	検査品目	生産地	測定結果		
			ヨウ素	セシウム	
				134	137
7月1日	さやいんげん	千葉県袖ヶ浦市	不検出	不検出	不検出
7月4日	キャベツ	群馬県嬬恋村	不検出	不検出	不検出
7月5日	とうもろこし	茨城県結城市	不検出	不検出	不検出
7月6日	えだまめ	群馬県前橋市	不検出	不検出	不検出
7月7日	小松菜	横浜市	不検出	不検出	不検出
7月8日	ズッキーニ	長野県諏訪市	不検出	不検出	不検出
7月11日	じゃがいも	長崎県南島原市	不検出	不検出	不検出
7月12日	なす	栃木県真岡市	不検出	不検出	不検出
7月12日	牛乳※	神奈川県・千葉県・岩手県・北海道の合乳	不検出	不検出	不検出
7月12日	牛乳※	神奈川県	不検出	不検出	不検出
7月13日	とうがん	愛知県豊橋市	不検出	不検出	不検出
7月14日	トマト	山形県最上郡大蔵村	不検出	不検出	不検出

単位はBq/kg(ベクレル/キログラム)

検出下限値 3.0 Bq/kg (3.0 Bq/kg未達は「不検出」となります。)

※牛乳については、検出下限値 1.0Bq/kg (1.0 Bq/kg未達は「不検出」となります。)

参考)食品衛生法 暫定規制値

放射性 ヨウ素	飲料水	300
	牛乳・乳製品※	
	野菜類(根菜、芋類を除く) 魚介類	
放射性 セシウム	飲料水	200
牛乳・乳製品		
野菜類 穀類 肉・卵・魚・その他	500	

※100Bq/kgを超えるものは、乳幼児用調整粉乳

及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導することとなっています。

放射線測定状況(平成23年7月分)

⑨-(ア) 水道水

●小雀浄水場 3月21日以前不検出→3月22日55.3 →3月23日56.8 →3月24日23.5
 ●川井浄水場 3月22日以前不検出→3月23日11.9 →3月24日8.8

採水箇所※1	小雀浄水場	西谷浄水場	川井浄水場	国の指標値※2
採水日	平成23年3月25日以降毎日			単位: Bq/kg
放射性物質	セシウム134	不検出	不検出	合計で200未満
	セシウム137	不検出	不検出	
	ヨウ素131	不検出	不検出	

●神奈川県内広域水道企業団

採水箇所※1	綾瀬浄水場	石橋浄水場	西長沢浄水場	国の指標値※2
採水日	平成23年3月25日以降毎日			単位: Bq/kg
放射性物質	セシウム134	不検出	不検出	合計で200未満
	セシウム137	不検出	不検出	
	ヨウ素131	不検出	不検出	

※1 各浄水場の配水池出口の水を採水

※2 原子力安全委員会が定める「放射線採取制限に関する指針」

⑨-(イ) 浄水発生土

浄水発生土(浄水処理に伴い発生する汚泥)

[単位:ベクレル/Kg]

採取日	採取試料	セシウム			ヨウ素131
		134	137	合計	
5月12日(木)	浄水発生土(乾燥土)	301	287	588	84.4
5月17日(火)	浄水発生土(脱水汚泥)	145	139	284	51.4
5月31日(火)	〃	109	127	236	18.1
6月14日(火)	〃	112	103	215	不検出
6月28日(火)	〃	62	49	111	不検出
7月12日(火)	〃	58	57	115	13.7
7月26日(火)	〃	57	66	123	不検出

放射線測定状況(平成23年7月分)

⑩一般廃棄物焼却工場・最終処分場 焼却灰等放射能濃度及び空間γ線量率

1 放射能濃度の測定

(1) ごみ焼却工場の主灰

(単位: Bq/kg)

試料採取日	採取場所	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	放射性セシウム合計
7月13日	都筑工場	不検出	160	180	340
	鶴見工場	不検出	110	120	230
	旭工場	不検出	220	230	450
	金沢工場	不検出	130	140	270

(2) ごみ焼却工場の飛灰

(単位: Bq/kg)

試料採取日	採取場所	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	放射性セシウム合計
7月13日	都筑工場	不検出	810	910	1,720
	鶴見工場	不検出	490	550	1,040
	旭工場	不検出	780	870	1,650
	金沢工場	不検出	740	860	1,600

(3) 最終処分場の排水処理施設放流水等

(単位: Bq/l)

試料採取日	施設名	項目	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	放射性セシウム合計
7月15日	神明台処分地	流入水	不検出	不検出	不検出	不検出
		放流水	不検出	不検出	不検出	不検出
7月14日	南本牧最終処分場	流入水	不検出	不検出	不検出	不検出
		放流水	不検出	不検出	不検出	不検出

2 空間γ線量率の測定

(1) ごみ焼却工場

(単位: μSv/h)

測定地点	都筑工場		鶴見工場		旭工場		金沢工場	
	7月6日	7月26日	7月7日	7月27日	7月12日	7月21日	7月6日	7月22日
北東敷地境界	0.10	0.07	0.08	0.09	0.10	0.10	0.09	0.08
南東敷地境界	0.08	0.09	0.10	0.09	0.09	0.09	0.12	0.10
南西敷地境界	0.09	0.09	0.10	0.08	0.09	0.08	0.09	0.09
北西敷地境界	0.10	0.09	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.11
工場内灰処理作業所等(3地点)	0.06~0.13	0.07~0.12	0.07~0.11	0.08~0.09	0.09~0.10	0.09~0.10	0.08~0.12	0.08~0.11

※測定高さはすべて1m

(2) 神明台処分地

(単位: μSv/h)

測定地点	測定高さ	測定日	
		7月5日	7月26日
北側敷地境界	1m	0.10	0.09
東側敷地境界	1m	0.10	0.10
南側敷地境界	1m	0.10	0.07
西側敷地境界	1m	0.09	0.10
処分地中央	1m	0.07	0.08
サッカー場	0.5m	0.08	0.08
	1m	0.09	0.08
芝生広場	0.5m	0.09	0.10
	1m	0.09	0.08
野球場	0.5m	0.10	0.09
	1m	0.08	0.07

(3) 南本牧最終処分場

(単位: μSv/h)

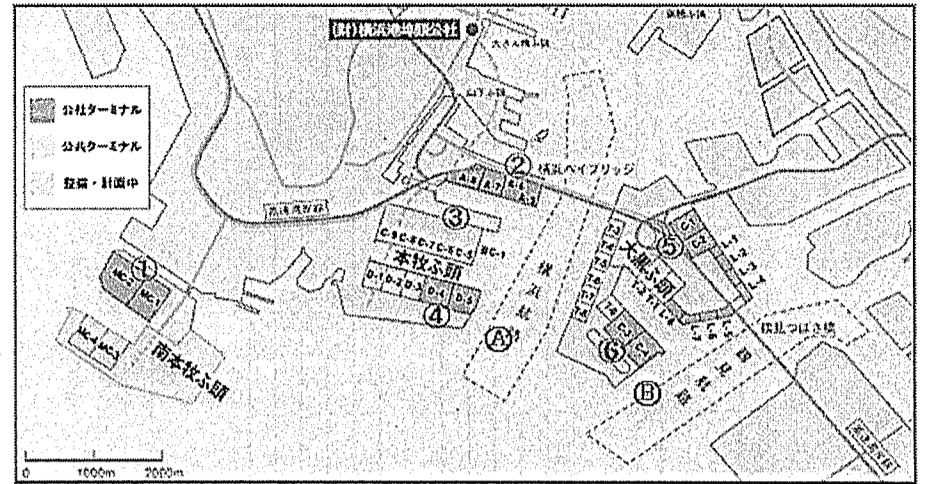
測定地点	測定高さ	測定日	
		7月8日	7月22日
北側敷地境界	1m	0.10	0.10
東側敷地境界	1m	0.10	0.09
南側敷地境界	1m	0.10	0.10
西側敷地境界	1m	0.10	0.11
排水処理施設	1m	0.08	0.10
埋立作業場所(4地点)	1m	0.06~0.13	0.06~0.13

放射線測定状況(平成23年7月分)

⑪ 港湾関係の各種測定結果

ふ頭名	大黒ふ頭					
測定地点	①MC-1,2 ゲート前付近	②A突堤5~7号 ゲート前付近	③BC ゲート前付近	④D突堤4,5号 ゲート前付近	⑤C-1,2号 ゲート前付近	⑥C-3,4号 ゲート前付近
2011/7/1(金)	0.06	0.05	0.07	0.07	0.07	0.10
2011/7/2(土)	0.06	0.06	0.09	0.08	0.08	0.09
2011/7/3(日)	0.06	0.06	0.08	0.09	0.09	0.10
2011/7/4(月)	0.07	0.08	0.09	0.11	0.08	0.09
2011/7/5(火)	0.08	0.09	0.09	0.10	0.08	0.10
2011/7/6(水)	0.07	0.06	0.08	0.10	0.08	0.11
2011/7/7(木)	0.08	0.07	0.09	0.11	0.10	0.09
2011/7/8(金)	0.08	0.08	0.09	0.10	0.08	0.09
2011/7/9(土)	0.06	0.05	0.07	0.07	0.06	0.10
2011/7/10(日)	0.07	0.06	0.08	0.09	0.08	0.09
2011/7/11(月)	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09
2011/7/12(火)	0.06	0.07	0.08	0.08	0.07	0.08
2011/7/13(水)	0.06	0.07	0.09	0.09	0.07	0.09
2011/7/14(木)	0.06	0.07	0.10	0.10	0.07	0.09
2011/7/15(金)	0.07	0.06	0.10	0.10	0.10	0.09
2011/7/16(土)	0.07	0.07	0.08	0.09	0.09	0.10
2011/7/17(日)	0.07	0.06	0.08	0.07	0.08	0.09
2011/7/18(月)	0.05	0.05	0.09	0.08	0.07	0.09
2011/7/19(火)	0.06	0.08	0.09	0.08	0.07	0.08
2011/7/20(水)	0.06	0.08	0.08	0.10	0.09	0.08
2011/7/21(木)	0.07	0.06	0.08	0.10	0.09	0.09
2011/7/22(金)	0.07	0.07	0.08	0.11	0.08	0.09
2011/7/23(土)	0.06	0.05	0.08	0.07	0.06	0.10
2011/7/24(日)	0.06	0.07	0.09	0.08	0.07	0.09
2011/7/25(月)	0.06	0.07	0.06	0.07	0.07	0.08
2011/7/26(火)	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09
2011/7/27(水)	0.06	0.08	0.08	0.10	0.07	0.09
2011/7/28(木)	0.06	0.05	0.07	0.10	0.06	0.08
2011/7/29(金)	0.08	0.09	0.09	0.11	0.08	0.08
2011/7/30(土)	0.06	0.06	0.08	0.09	0.07	0.09
2011/7/31(日)	0.07	0.06	0.09	0.09	0.08	0.08

測定地点



輸出コンテナの放射線測定状況

月日 (平成23年)	測定本数	除染対象コンテナ数 (※1)	通報対象コンテナ数 (※2)
6月27日~7月3日	6,915	3 (0.04%)	0 (0.00%)
7月4日~10日	5,384	0 (0.00%)	0 (0.00%)
7月11日~17日	6,301	0 (0.00%)	0 (0.00%)
7月18日~24日	5,323	0 (0.00%)	0 (0.00%)

※1 除染対象は、測定結果がバックグラウンド値の3倍以上5 $\mu\text{Sv/h}$ 未満のコンテナであり、ガイドラインに基づいて除染等の対応がされており、全ての輸出コンテナはガイドラインに基づくバックグラウンド値の3倍未満となっています。

※2 通報対象は、測定結果が5 $\mu\text{Sv/h}$ 以上のコンテナです。

※3 横浜港では、輸出コンテナのガイドラインに基づき4月28日から放射線測定を実施しました。延べ8万本超の輸出コンテナを測定し、除染対象は13本(発生率0.02%)、通報対象については実績がありません。除染対象についてはガイドラインに基づいて除染等の対応がされており、全ての輸出コンテナはガイドラインに基づくバックグラウンド値の3倍未満となっています。

採取日	測定地点	ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
2011/7/4(月)	(A): 横浜航路	不検出	不検出	不検出
	(B): 鶴見航路	不検出	不検出	不検出
2011/7/11(月)	(A): 横浜航路	不検出	不検出	不検出
	(B): 鶴見航路	不検出	不検出	不検出
2011/7/19(火)	(A): 横浜航路	不検出	不検出	不検出
	(B): 鶴見航路	不検出	不検出	不検出
2011/7/25(月)	(A): 横浜航路	不検出	不検出	不検出
	(B): 鶴見航路	不検出	不検出	不検出

※検出限界値(20Bq/L)以下は不検出と表示。

放射線測定状況(平成23年7月分)

⑫ モニタリングポストの空間線量測定

